

重要

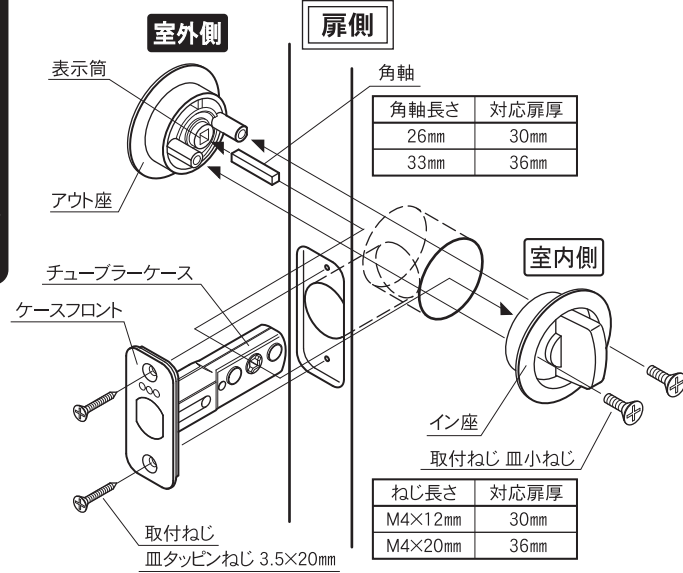
※簡易シリンダー錠において角軸の方向を間違えて取り付けした場合角軸が破損したり錠前が壊れるおそれがあります。右記「簡易シリンダー座の取付け方法」の通りに角軸の方向を合わせてから取り付けて下さい。

開き戸 簡易本締錠

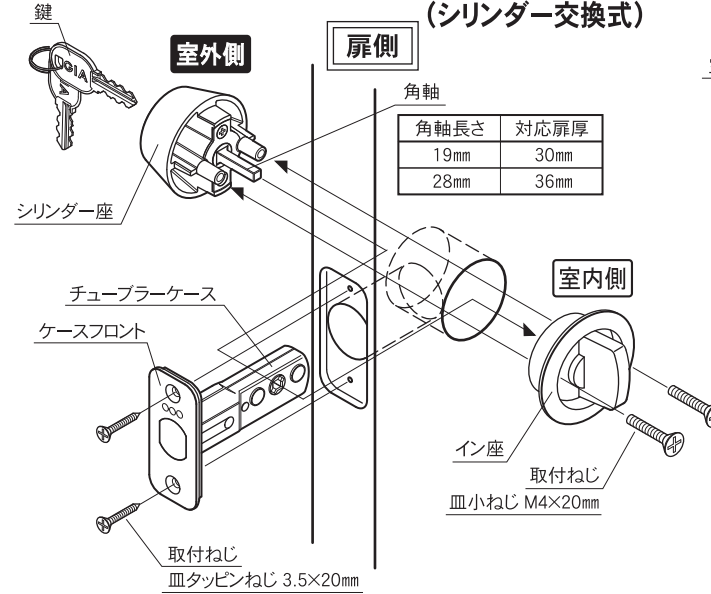
《取付説明書》

DAIKEN

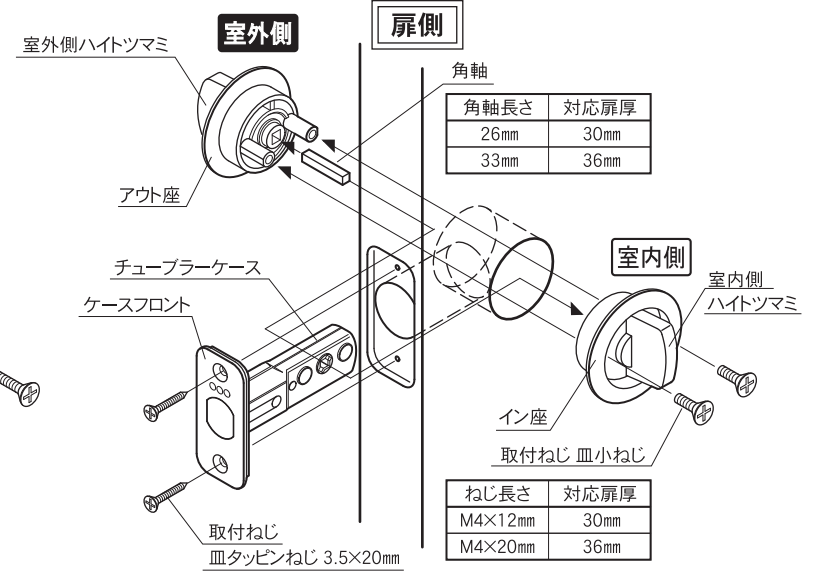
●簡易本締錠 表示錠



●簡易本締錠 簡易シリンダー錠 (シリンダー交換式)



●簡易本締錠 両側サムターン錠



ご注意

施工上の注意

- 滑り止め付きの手袋をご使用ください。金具などで手を切るなどケガをする恐れがあります。
- ねじは説明書に従い、確実に締め付けてください。締め付け不足のまま使用すると、錠が正常に作動しなくなる恐れがあります。
- 錠を分解したり改造したりしないでください。部品でケガをしたり、錠が正常に作動しなくなる恐れがあります。

使用上の注意

- 錠及び座、ツマミの表面を金属製装身具などで傷をつけないように注意してください。傷の部分から変色、腐食する恐れがあります。
- 錠及び座、ツマミの洗浄に酸性やアルカリ性などの洗剤やアルコールなど薬品を使用しないでください。変色や塗装剥がれ、腐食の原因になります。
- 鍵穴に潤滑油をささないでください。油はホコリを吸着し、かえって鍵の動きが悪くなります。
- サムターンは引っ張らないでください。サムターンを引っ張ると外れて閉じ込めにつながる可能性があります。

全機種共通

1. チューブラーケースの取付け方法

フロントのマークを上にして、チューブラーケースを扉に挿し込み取付ねじで固定してください。

2. 表示錠座の取付け方法

- 角軸を室外側アウト座の表示筒の角穴に挿し込んでください。
 - 表示筒の角軸をチューブラーケースの角穴に挿し込み、室内側イン座のハイトツマミの角穴に合わせて、取付ねじで仮締めしてください。
 - ハイトツマミを回転させて、施錠錠の作動が確実にスムーズにできるかを確認しながら、取付ねじを締め付けてください。
- 注) ハイトツマミ、及び表示筒の向きは下図の位置に合わせてください。
- 注) 電動ドライバー等は使用しないでください。取付ねじを締め過ぎると錠の動きが悪くなる場合があります。

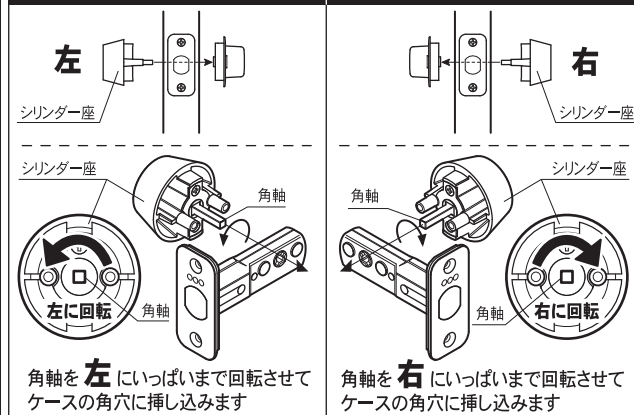
2. 簡易シリンダー座の取付け方法

重要

- 扉の開き勝手によって、シリンダー座の角軸を左右どちらかに回転させてからチューブラーケースの角穴に挿し込みます。
- 注) 角軸の設定は、**下図を参照して** 確実に合わせてください。
- 注) 角軸の向きを設定する時は、**錠前を解錠状態にして鍵を挿さず**に設定してください。

扉先から見てシリンダー座が**左**の場合

扉先から見てシリンダー座が**右**の場合



- イン座の角穴を角軸に合わせて、取付ねじで仮締めしてください。
 - 注) ハイトツマミとシリンダーの位置は下図の位置に合わせてください。
 - ハイトツマミを回転させて、施錠錠の作動が確実にスムーズにできるかを確認しながら、取付ねじを締め付けてください。
- 注) 電動ドライバー等は使用しないでください。取付ねじを締め過ぎると錠の動きが悪くなる場合があります。

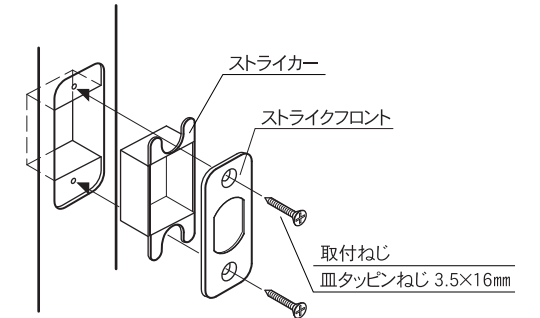
2. 両側サムターン座の取付け方法

- 角軸を室外側アウト座のハイトツマリ角穴に挿し込んでください。
- ハイトツマミの角軸をチューブラーケースの角穴に挿し込み、室内側イン座のハイトツマミの角穴に合わせて、取付ねじで仮締めしてください。
- 注) ハイトツマミの向きは下図の位置に合わせてください。
- ハイトツマミを回転させて、施錠錠の作動が確実にスムーズにできるかを確認しながら、取付ねじを締め付けてください。
- 注) 電動ドライバー等は使用しないでください。取付ねじを締め過ぎると錠の動きが悪くなる場合があります。

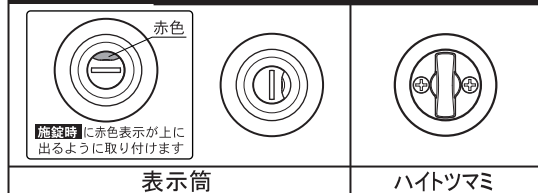
全機種共通

3. ストライクの取付け

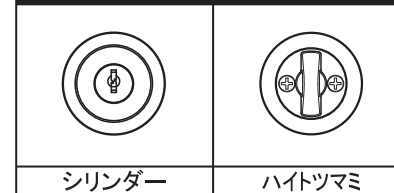
ストライクとストライカーを合わせて、取付ねじで枠に固定してください。



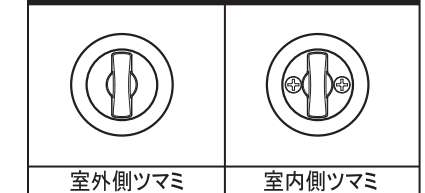
解錠時の表示筒・ツマミの位置



解錠時のシリンダー・ツマミの位置



解錠時のツマミの位置



DAIKEN株式会社